

2023 年 11 月社長会見

- 1. 営業・輸送概況
- 2. イノベーションによる長期ビジョンの実現に向けた取り組み
- 3. 大阪・関西万博に向けた機運醸成について
～開催500日前に向けたJR西日本グループの取り組み～

詳細

1. 営業・輸送概況

【運輸取扱収入（速報値）】

収入ですが、10月はコロナ前の2019年比で115.3%、11月は14日までの2週間分で95.5%です。ただこの2019年10月は消費増税、台風19号の影響もございました。10月は、実勢としては97%程度、そして11月は94%程度が実勢ベースと見ております。

運輸取扱収入（速報値）

	前年同月比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
10月	118.7% (115.3%)	114.6% (117.8%)	124.7% (100.8%)	109.1% (172.7%)
11月（11/1～14）	118.8% (95.5%)	113.7% (108.8%)	125.0% (93.1%)	103.8% (89.0%)

※実績は直営の速報値。駅などの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。

※（）内は、コロナ前の2019年同月比。

注）2019年同月比は、2019年10月1日に消費増税があり、定期券や中長距離券を増税前に購入する傾向があったことから、10月の運輸取扱収入の2019年同月比は実勢よりも高くなっています。

【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

次に、ご利用状況は、山陽新幹線は、10月が2019年比で97%、11月が14日までで94%。近畿圏は、10月が111%、11月が14日までで104%です。これも、10月、11月は、2019年の台風の影響などにより、本年は実勢より高くでておりますことはご承知おきいただきたいと思います。10月・11月は、国内旅行のお客様、訪日のお客様に多くご利用いただき、新幹線・在来線ともに比較的好調に推移していると見ております。

引き続き、鉄道の安全・安定輸送を基盤に、国内外のお客様がこの西日本エリアを快適に、ご利用いただけるよう取り組んでまいります。

新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）

	前年同环比				
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏	
				近距離券発売枚数	自動改札通過人員
10月	125% (97%)	126% (178%)	129% (93%)	108% (111%)	107% (94%)
11月（11/1～14）	122% (94%)	125% (113%)	136% (90%)	107% (104%)	105% (91%)

※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績と自動改札通過人員の前年同环比を併記。
 ※ 〇 内は、コロナ前の2019年同环比。
 ※北陸新幹線のご利用状況は、2019年の台風19号の影響により、実勢よりも高くなっています。

2. イノベーションによる長期ビジョンの実現に向けた取り組み

次に、「イノベーションによる長期ビジョンの実現に向けた取り組み」についてご紹介させていただきます。

当社グループにおきましては、未来社会を見据えた存在意義である「私たちの志」、10年後のありたい姿である「長期ビジョン2032」というものを掲げ、その実現に向けて、様々なパートナーの皆様と共に新たな挑戦を続け、イノベーションを加速しているところです。

本日は、その取り組みの一例と、これらを展示している「イノベーション&チャレンジデイ2023」の開催についても改めてお知らせいたします。

イノベーションによる長期ビジョンの実現



【鉄道指令業務アシストAⅠ】

まず具体例のご紹介でございます。1件目は、「鉄道指令業務アシストAⅠ」についてです。「鉄道指令業務アシストAⅠ」は、自然災害や線路・車両設備のトラブルなどにより列車のダイヤが乱れた場合、復旧に向けて各列車の運行を指示する指令業務について、AⅠ技術を活用し、最適なダイヤを自動提案するソリューションです。

指令業務の中でも特に経験が必要な、ダイヤ復旧を専門用語で「運転整理」という言い方をしますが、ここにAⅠを活用することで、指令員の負担を軽減しつつ、若手社員・ベテラン社員の経験の差による精度のバラつきを縮小し、ダイヤ復旧の質を向上することを目的に開発を進めています。

本件は、株式会社オルツ様と協力し、鉄道会社である私も自らが開発を進めることで、様々な線区でダイヤ乱れが発生した際に活用できる、より実用的なソリューションを目指しているところです。2021年度より実証実験を開始し、実在しない仮の線区をモデル化し、基本となるAIの構築を行いました。ここでは、AIが提案した運転整理案と実際の指令員による運転整理案とを比較し検証を重ね、一定の成果を得ました。更に2022年度からは、当社管内の実際の線区・ダイヤのデータを用いて、自動で運転整理を行うためのAI学習モデルの確立に向け、検証をしております。

ここでは、基本となるAIに指令員のノウハウを学習させることで、AIの運転整理案の精度が、指令員の案に着実に近づいてきております。現在は、モデル線区の追加検証やAIの出力解の精度を高めていくとともに、実場面で使用できるようなシステムの設計や機能の追加を進めています。

本件はまだ、数年以内の実用化を目指しているという段階です。実現すれば、ベテラン指令員の運転整理のデジタル化が可能となり、ダイヤ復旧の質の向上の一助に繋がると考えています。また、将来的には、当社エリア内に留まらず、他の鉄道事業者様の課題解決にも貢献できればとも考えております。

鉄道指令業務アシストAI

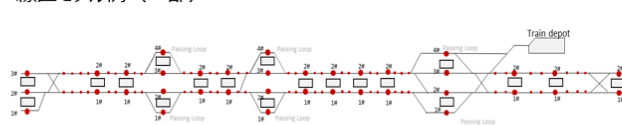
現在



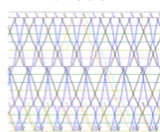
【Phase①②】

- ・仮想線区・実在線区をモデルに、指令員の輸送計画とAIシミュレーション結果を比較し、実現可能性を検証

線区モデル例（一部）



AIモデル例

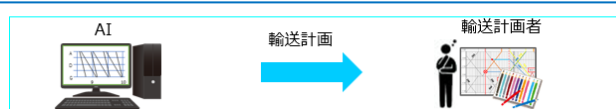


AIの運転整理案の精度が、
指令員の案に着実に近づいている

- ・モデルとする線区の追加検証
 - ・AIの出力解の精度の向上
- を継続して実施

【Phase③】

- ・実場面で使用できるようなシステムの設計や機能の追加



【次世代スマートロッカーを活用した新たな商品受け取りサービス～ピクラク～】

2件目は、「次世代スマートロッカーを活用した新たな商品受け取りサービス～ピクラク～」についてです。「次世代スマートロッカー～ピクラク～」は、専用のオンラインサイトで注文した様々な商品を、当社の駅などに設置されたスマートロッカーというもので受け取ることができるサービスです。駅をご利用のお客様は、このサービスをご利用いただくことで、お買い物に出向くことなく、生活動線上で、好きなタイミングで気軽に、商品を受け取ることができます。

当社では、2022年3月に公表しました「JR WEST LABO」において、次世代スマートロッカーを活用した新たなサービスを検討する中で、コストコの商品を近畿エリアの4駅で受け取る実証実験を行っているところです。

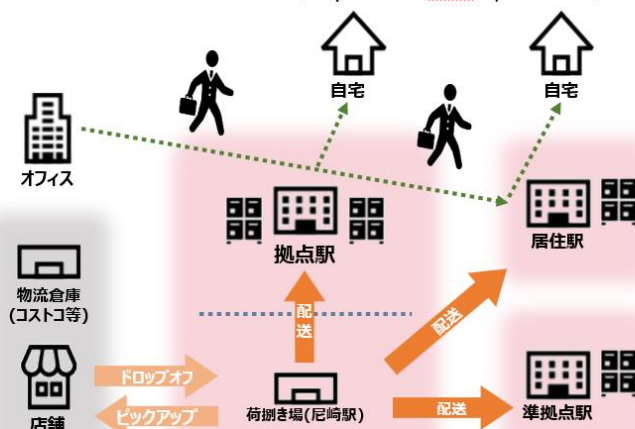
この次世代スマートロッカーは、ECサイトで購入した商品を受け取るなどの使い方の他に、ロッカーに預けた荷物を、例えばホテルまで配送することで、ご旅行されるお客様が大きな荷物を持ち運ぶ不便を解消するいわゆる「手ぶら観光」等への応用も可能ではないかと考えています。

これらはいわゆる「物流の2024年問題」や、観光客の大型手荷物による公共交通機関の混雑緩和という意味で「オーバーツーリズム」対策にもなるのではないかと考えており、大阪・関西万博も近づく中、社会課題解決に資する取り組みとして、今後さらに検討を進めていきたいと考えております。

次世代スマートロッカーを活用した新たな商品受け取りサービス「Pikuraku（ピクラク）」

Pikurakuとは

ECサイトで購入した商品を、店舗ではなく、駅に設置したスマートロッカーで受け取れるようにしたBOPIS（Buy Online Piku-up In Store）サービス。



今後、ECサイトの拡大や手荷物配送への応用により、「物流の2024年問題」や「オーバーツーリズム対策」などの社会課題解決に向け、検討を進めていく

【イノベーション&チャレンジデイ2023】

最後に、「イノベーション&チャレンジデイ2023」について、改めてご紹介いたします。本イベントでは、「長期ビジョン2032」に沿った4つのエリアにて、当社グループの取り組み内容の展示や、パネルディスカッションなどを通して、オープンイノベーションとチャレンジについて、幅広い内容でお届けします。

是非、多くの方にお越しいただき、当社グループの取り組みを知っていただくことで、様々なパートナーの皆様と新たな共創、共に創りあげることが生まれることを期待します。

イノベーション&チャレンジデイ2023の開催

- 開催期間：2023年12月12日(火)～13日(水)
- 会場：グランフロント大阪 北館 B2Fコングレコンベンションセンター
(大阪府 大阪市 北区 大深町 4-20)
- 参加費：無料（※事前来場登録制）
- 参画企業：JR西日本グループ約30社

■実施内容

- ①パネル・実機展示、実機操作体験
- ②講演・パネルディスカッション
- ③課題先行型ピッチイベント
- ④その他(地域製品の試食会等)



Innovation & Challenge Day

JR WEST GROUP

2023 12/12 Tue → 13 Wed

場所：グランフロント大阪北館B2F コングレコンベンションセンター

入場
無料

JR西日本グループのさまざまな領域にわたる新たな取組みや新技術・サービスを
体感できる展示会&講演会イベントを開催！

特設サイトはコチラ



※携帯電話のご利用メニューにご登録ください

大阪・関西万博に向けた機運醸成の取り組みについてお知らせいたします。

～開催500日前に向けたJR西日本グループの取り組み～

次に、大阪・関西万博に向けた機運醸成の取り組みについてお知らせいたします。

2025年4月13日から約半年間にわたり、夢洲にて大阪・関西万博が開催され、来る11月30日には、500日前を迎えます。万博の開催を契機に、国内外から多くのお客様が訪れることが予想されており、当社グループにとっても様々な形でお客様との接点を増やすことのできる重要な機会になろうかと思えます。

本日は、万博開催500日前に向けた、当社グループの取り組みについて、お知らせいたします。

私どもでは、「プロモーション協力」、「ショップ展開やオリジナルグッズ販売」、「キャンペーン企画」「入場券販売への協力」などを、グループ全体で取り組みを進めていこうとしております。



まずは、「当社グループのアセットを活用したプロモーション協力」についてご案内させていただきます。既にお知らせしておりますが、万博開催500日前である11月30日より、大阪環状線およびJRゆめ咲線にて、ラッピング列車を運行いたします。

ラッピング列車の車内では、大阪・関西万博をPRする広告ジャックも併せて実施し、万博をより身近に感じていただけるようにしたいと思います。また、ラッピング列車の運行に合わせて、大阪環状線デジタルスタンプラリーを開催いたしますので、駅スタンプコレクションをぜひお楽しみいただければと思います。

さらに、大阪駅ビルでのラッピングプロジェクトも、万博協会の協力を得て実施いたします。大阪ステーションシティサウスゲートビルディングの壁面に日本一の大きさを誇る「ミャクミャク」が登場し、万博の機運を盛り上げてまいります。

当社グループのアセットを活用したプロモーション協力

大阪・関西万博ラッピング列車

- 運行期間 2023年11月30日～大阪・関西万博 会期終了
- 運行線区 大阪環状線・JRゆめ咲線
- 対象車両 323系（8両1編成）
- その他 車内広告ジャックを実施予定



大阪環状線NFTスタンプラリー

- 実施期間 2023年11月30日～2024年3月24日
- 実施場所（第1弾）
大阪駅、西九条駅、弁天町駅、天王寺駅の駅スタンプ台
323系大阪・関西万博ラッピング列車内
※第2弾以降、実施場所を順次拡大予定



大阪駅ビルEXPO2025ラッピングプロジェクト

- 実施期間
2023年11月30日頃～
- 実施場所
大阪ステーションシティ
サウスゲートビルディング
南東側外壁面



続いて、「ショップ展開やオリジナルグッズ販売」についてですが、11月29日より、新大阪駅構内にございますエキマルシェ新大阪において、公式ライセンス商品を取り扱うオフィシャルストアを、開業いたします。

また、本日11月22日から、万博開催500日前を記念したオフィシャルポップアップショップを、期間限定で京阪神エリアおよび西日本各地にて展開いたします。より多くのお客様にお越しいただき、大阪・関西万博の魅力を感じていただければと思います。

ショップ展開・オリジナルグッズ販売

オフィシャルストア

- 開業日
2023年11月29日
- 場所
エキマルシェ新大阪（新大阪駅改札内）



ポップアップショップ

- 実施時期
2023年11月22日～2024年1月30日
- 場所
【大阪府】ルクア大阪、エスト、天王寺ミオ、アルゲ新大阪【京都府】京都パルタ
【兵庫県】ピオレ姫路【和歌山県】和歌山ミオ【富山県】マルート
【石川県】金沢百番街【岡山県】岡山一番街【広島県】広島駅

※店舗によって実施時期が異なります。



次に、万博開催の1年前となる2024年4月には、JR東日本様、JR東海様、JR九州様と共に、東海道・山陽新幹線、山陽・九州新幹線、北陸新幹線において、「ミyakuma」などがデザインされたラッピング新幹線を運行いたします。

一つのレールでつながっているJRグループの強みを活かし、西日本エリアにとどまらず、関東や北陸、九州エリアなど、全国に機運醸成を広げていければと思っています。万博開催にあわせて、2025年4～6月

に大阪デスティネーションキャンペーンをJRグループ全体のプロモーションとして開催、1年前にもプレキャンペーンを実施します。関係自治体様や関西の鉄道事業者様、当社グループ一丸となって、機運醸成の取り組みを展開してまいりたいと考えております。

当社グループといたしまして、最大のミッションである万博アクセス輸送に加え、国内外からの誘客・送客など、さまざまな取り組みを着実に進め、開催地である大阪・関西の一員として、万博の成功に貢献するとともに、魅力的な関西都市圏の実現を目指していきたいと考えているところです。

ラッピング新幹線の運行・デザイン等について

■運行期間

2024年4月13日ごろ～大阪・関西万博 会期終了
※会期終了後、ラッピング撤去までの間は運行予定

■対象車両

東海道・山陽新幹線 N700系・N700S※（16両・各1編成）
山陽・九州新幹線 N700系（8両・1編成）
北陸新幹線 W7系（12両・1編成）
※JR東海所属

北陸新幹線（東京～敦賀 ※）



東海道・山陽新幹線（東京～博多）



山陽・九州新幹線（新大阪～鹿児島中央）

